

eX WP

検証済みライティングソフトウェア/USBメモリ

項目	メーカー名	検証済みソフトウェア/USBメモリ名称
ライティングソフトウェア	BHA	B's Recorder GOLD 9
	Nero	nero 7
	Roxio	Easy Media Creator 9 RecordNow 9
	Ulead	WinCDR 9
	Microsoft	Windows 標準ライティング機能
		Windows Media Player 11
パケットライティングソフトウェア	BHA	B's CLIP 7
	Roxio	DragToDisc
	Sonic	DLA
	Microsoft	Windows パケットライティング機能
USBメモリ	BUFFALO ※1	RUF2-HSC2GUW
		RUF2-HSC1GW
		RUF2-HSCL-1G
		RUF2-HSC-MGR
		RUF2-HSC-2GTV
		RUF2-FHS4G
		RUF2-SC512 ※2
		RUF2-FHS2G
		RUF2-HSC-2GTVA5
		RUF3-JM8GS-BK ※2
		RUF3-HSTVシリーズ ※6
		RUF3-HSLシリーズ
		RUF3-HSシリーズ
		RUF3-HSLTVシリーズ
	RUF2-HSCLTVA3	
	I-O DATA ※1	ED-V1G
		ED-V3/1G
		ED-S2/1GA
		ED-S3/1G
		ED-SV3/1G
		ED-E1GA
		ED-E3/1G
		EDS-ECO256
		ED-SC3/2G
		ED-CCV2G ※3
	SONY	FIU-850-M03
		FIU-850-C04 ※4
		FIU-850-D04
	HAGIWARA ※1	HUD-PL1GAVSL
		HUD-PL302GM ※3
		HUD-PUVM302GA1 ※3
		HUD-PUVM302GM1 ※3
	ELECOM ※1	MF-PUVT302GA1
		MF-PUVT302GM1
		MF-ENU3A04GBK
	ED Contrive ※1	SD-Container 5.0
		SD-Container 5.0V
		SD-Shelter 2.0
		TRAVENTY for eXWP
		TRAVENTY V for eXWP
		TRAVENTY CG ※5
		TRAVENTY CG V ※5
		TRAVENTY SuperVision
		TRAVENTY V SuperVision
		TRAVENTY3
	McAfee	USB-ST02-1GBP
	備考	<p>※1 Windows 2000またはWindows XPにおいてユーザ権限で使用すると、プロダクトIDがセキュリティログイン前後で変化します。そのため、以下の手順でセキュリティログイン前後のプロダクトIDを使用した承認KEYの埋め込みを行う必要があります。この作業はWindows2000、またはWindows XPにて行ってください。</p> <p>[手順]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ユーザ権限にてログオンする。</li> <li>2.対象のUSBメモリをPCへ接続する。</li> <li>3.USBメモリにセキュリティログインする。</li> <li>4.管理者メニューを実行する。</li> <li>5.【USBメモリ承認】ボタンを押し、USBメモリ承認画面を表示する。</li> <li>6.グループ名を適宜設定した後、【承認】ボタンを押すことで、承認KEYをセキュリティ領域へ埋め込む。</li> <li>7.USBメモリを一度PCから抜く。</li> <li>8.管理者権限にてログオンする。</li> <li>9.対象のUSBメモリをPCへ接続する。</li> <li>10.USBメモリにセキュリティログインする。</li> <li>11.管理者メニューを実行する。</li> <li>12.【USBメモリ承認】ボタンを押し、USBメモリ承認画面を表示する。</li> <li>13.グループ名を適宜設定した後、【承認】ボタンを押すことで、承認KEYをセキュリティ領域へ埋め込む。</li> <li>14.USBメモリを一度PCから抜く。</li> </ol> <p>※2 読み込みと書き込み両方を禁止するモードに設定しても、読み込み禁止が行えません。書き出しは禁止されます。</p> <p>※3 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、ED-CCVのセキュリティ保護領域の解除を行う「SDLauncher.exe」の起動ができません。このため、承認USBメモリ機能が利用できません。イーネブラによる一時書き出し許可機能は利用可能です。</p> <p>※4 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、「ファイル名を指定して実行」メニューから保護領域の解除を行う「UserMgr.exe」を実行することができません。</p> <p>※5 オフィス内モードとオフィス外モードの2つのコピーガード機能のうち、eXWP導入環境下では、オフィス内モードのみサポート可能です。</p> <p>※6 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、USBメモリのパスワード認証後にTrend Micro USB Securityの起動に失敗したメッセージが表示されます。読み込みを許可している場合は表示されません。</p> <p>・2016年6月21日時点で、弊社にて動作検証が完了しているライティングソフトウェア/USBメモリです。記載されていない製品につきましては、お問い合わせください。</p>